

集落全体で防ごう農産物の鳥獣害

野生鳥獣による被害については、中山間地域を中心に農作物に多大な損害を与えています。これらの状況を踏まえ、野生鳥獣による農作物被害を防止するための10カ条を掲載します。鳥獣から農作物を守るには、集落全体で取り組むことが大切です。イノシシなどの鳥獣の習性や行動を知り、農林産物を鳥獣害から守りましょう。

獣害防除の10カ条

1. 相手を知る!

イノシシといえば「猪突猛進」のイメージがあるが、素顔は意外と臆病。一般的イメージ以上に学習能力が高いが、過少評価されている。一方、サルは過大評価が多く、「サルにはかなわない」とあきらめてしまいがちだが意外な弱点もあります。相手を知ることから防除の対策は始まる。

2. 当事者になる!

猟師さんにまかせるだけでなく、動物の行動パターンを知ること、自分でできる対策も見えてくる。

3. 集落で共通意識を持つ!

地域の田畑全体を守るという意識を持つ。自分の田畑を自分で守ることは、集落全体のエサ場としても魅力を下げることにもつながる。

4. 噂は噂にすぎない!

劇的な効果があると噂されたが、結局防ぐことができなかった防除法が山のようにある。科学的根拠のある情報を選びたい。

5. あきらめない!

動物たちにとって一番怖いものは私たち「人間」。完璧な防除ではなくても、嫌がらせを組み合わせ、集落に定着しにくいようにしていくことが重要。

6. 集落に入させない!

耕作放棄地、放置された収穫残渣など、動物たちを集落に引き寄せるエサ場がないかどうか点検。集落のエサ場としての魅力を下げる。

7. 隠れ場所をなくす「嫌がらせ作戦」!

田畑のまわりのヤブを刈り払うなど、動物たちの嫌がる見晴らしのよい場所をたくさんつくって、居づらくする。

8. 防除柵を過信しない!

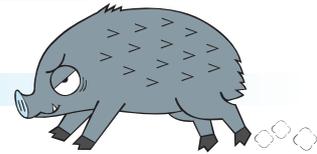
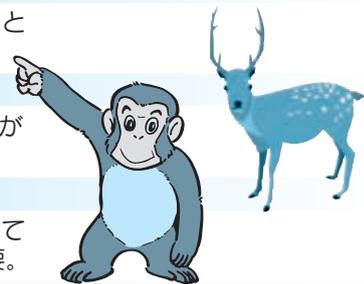
せっかくの電気柵も、下草管理の不備や設置場所の違いなどによって「漏電」や「絶縁」状態になり、効果がでないことがある。メンテナンスが大切だ。

9. 動物は臭い・音・光に慣れる!

臭い・音・光などの忌避材そのものを嫌っているのではなく、仕掛けられたことによる「環境の変化」を警戒している。その変化に慣れる前に次の手を打ちたい。

10. 効果的な駆除「山の十頭より田畑の一头」!

被害を及ぼしていない山奥の捕獲数を上げるより、田畑を荒らす「不良獣」を狙う方が被害は減少する。



国東市マリンピアむさし指定管理者を募集します

国東市では、国東市マリンピアむさしを平成21年度から指定管理者制度を導入することとし、指定管理者を募集します。

施設概要

- 名称 国東市マリンピアむさし
- 所在地 国東市武蔵町糸原3185番地4~9

指定管理条件

- 建物及び設備備品等は譲渡契約による無償譲渡とする
- 土地は、賃貸契約により有償とする
- 商業施設区域における積極的な事業展開を行うこと

業務の範囲

施設及び付属設備、舟艇の保守・維持管理及び運営業務

指定期間

平21年4月1日から平成26年3月31日まで(5年間)

応募方法

プロポーザル方式(提案制)とし、指定様式により提出すること。

応募資格

法人、その他の団体(民間事業者、NPO法人など)

募集期間

平成20年11月1日から20日まで

応募先

国東市役所産業商工部林業水産課

問い合わせ

林業水産課 ☎ 0978-72-5198